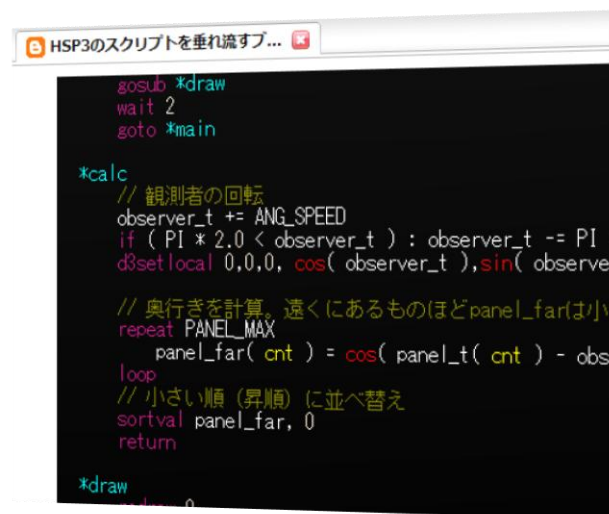


(X)HTML コンバータ forHSP3 取扱説明書

ver. 1.42, 2007/10/10 ©eller

1. (X)HTML コンバータとは

HSP3 のスクリプトを XHTML または HTML へと変換するツールです。HSP スクリプトエディタの外部ツールとして動作するので、作成したスクリプトを手軽に変換することができます。



2. 動作環境

HSP3.0 以降、HSP HELP Browser II、Internet Explorer4 以降がインストールされた Windows マシンで動作します。

なお、HSP3.1、HSP HELP Browser II ver. 2.17c、Internet Explorer 7 がインストールされた Windows Vista にて動作確認を行っています。

3. インストール

はじめに、圧縮ファイルを展開してできたファイルおよびフォルダを、**HSP3 本体があるフォルダへコピーしてください。** ツールから DLL およびヘルプブラウザのデータベースを使用するため、その他の場所に保存されていると使用できません。

次に、HSP スクリプトエディタから外部ツールの登録を行ってください。HSP3 付属のスクリプトエディタ (hsed3.exe) の場合、登録はメニューバーの「ツール」から行えます。

(X)HTML コンバータのすべての機能を利用するために、下図のように登録することを推奨します。

外部ツール設定

ツール名:
XHTMLコンバータ

ファイルパス:
C:\HSP3\HTXcnv.exe 参照...

コマンドライン: (%F,%fはファイル名に置き換えられます)
%f

作業ディレクトリ:

表示
☒ メインメニューに表示
☐ ポップアップメニューに表示

オプション
☐ スクリプト エディタ起動時に実行する
☐ 実行時に編集集中のファイルを上書き保存する(起動時の実行を除く)

OK キャンセル

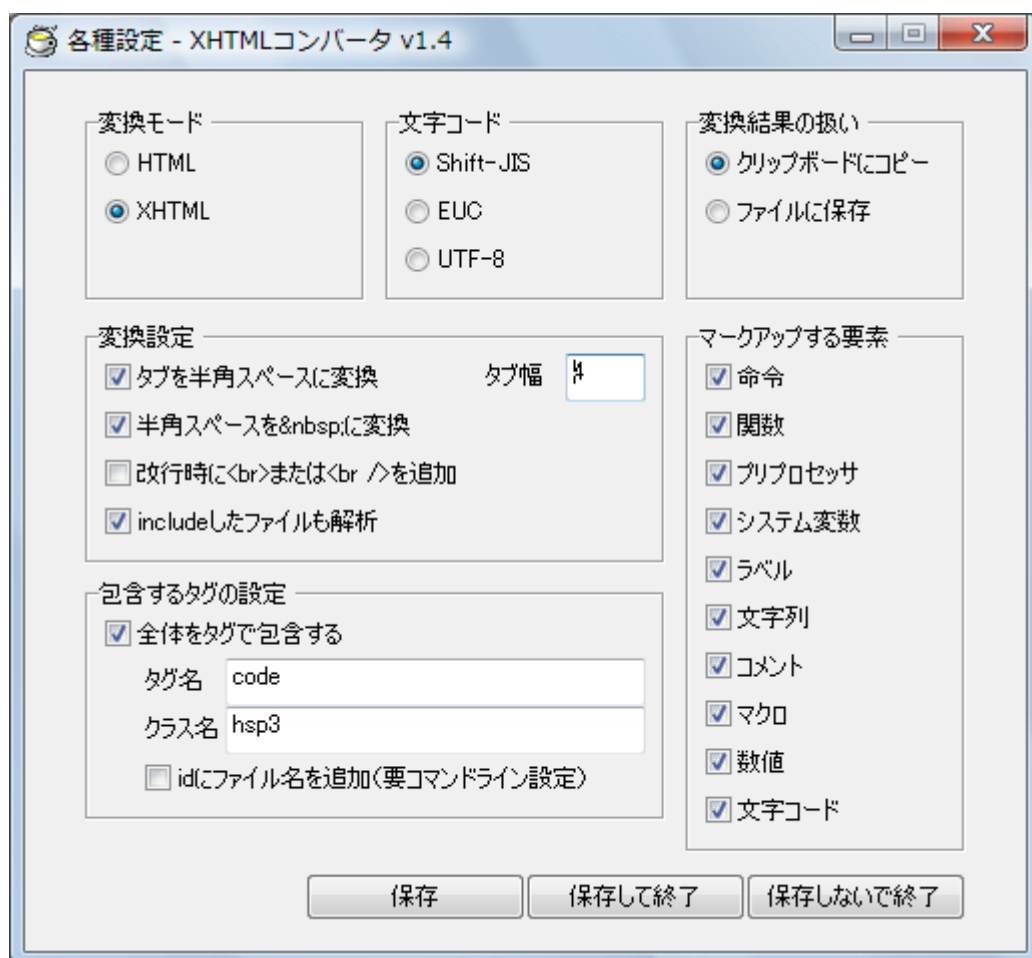
ファイルパスには(X)HTML コンバータのフルパスを、コマンドラインには半角で%fと入力してください。ツール名および表示・オプションは任意です。

また、この登録とは別にコマンドラインを半角の-sとした登録も作成しておくとう便利です。これを実行することで設定画面を呼び出し、機能の設定を行うことができます。

最後に同梱の else.hs を hsphelp フォルダへコピーしてください。これによって else 命令のマークアップが可能となります。

4. 機能の設定

スクリプトエディタが起動していない状態で(X)HTML コンバータを起動するか、コマンドラインを”-s”にして起動すると、変換は行われずに設定画面が表示されます。使用前に自分好みの設定へ変更することをお勧めします。



変換モード

HTML および XHTML のどちらに変換するかを指定します。違いは単独タグを<で閉じるか/>で閉じるかだけです。

文字コード

出力する文字コードを指定します。Shift-JIS、EUC、UTF-8 の 3 種類から選択できます。

変換結果の扱い

変換した結果をクリップボードにコピーするかテキストファイルに保存するかを選択します。

変換設定

タブを半角スペースに変換

チェックを入れると、文字列中を除くすべてのタブをいくつかの半角スペースに変換します。タブ幅を入力ボックスから指定してください。

半角スペースを に変換

チェックを入れると、すべての半角スペースを に変換します。

改行時に
または
を追加

チェックを入れると、改行箇所に
または
タグを追加します。どちらが追加されるかは**変換モード**で決まります。

include したファイルも解析

チェックを入れると、**#include** および**#addition** で指定したファイルも解析し、ユーザー定義命令やマクロがないかどうか調べます。

この機能によって、別ファイル内で定義したユーザー定義命令やマクロのマークアップが可能になります。解析するファイルの大きさによっては時間がかかりますので、ご注意ください。

包含タグの設定

全体をタグで包含する

チェックを入れると、スクリプト全体を指定したタグで包含します。**pre** や **code**、**div** などで囲むことを想定しています。

タグ名

包含するタグのタグ名を指定します。

クラス名

包含するタグのクラス名を指定します。

id にファイル名を追加

チェックを入れると、包含するタグの id に、拡張子を含まないファイル名を追加します。

タグ付けする要素

文字列や命令など、マークアップしたい要素を指定します。指定された要素は変換時に特定のクラス名を持つ `span` 要素でマークアップされます。クラス名は以下のとおりです。

要素	クラス名
コメント	<code>hsp3_comment</code>
関数	<code>hsp3_function</code>
命令	<code>hsp3_command</code>
文字列	<code>hsp3_string</code>
数値	<code>hsp3_number</code>
システム変数	<code>hsp3_sysval</code>
マクロ	<code>hsp3_macro</code>
プリプロセッサ	<code>hsp3_preprocessor</code>
ラベル	<code>hsp3_label</code>
文字コード	<code>Hsp3_stringcode</code>

この機能を利用することで、スタイルシートによって命令や関数などを特定の色やフォントで装飾することができます。

5. 変換規則

機能の設定で設定した変換規則に加え、`<`と`>`と`&`は無条件で`<`と`>`と`&`に置き換えられます。

6. アンインストール

レジストリは一切いじりませんので、インストール時にできたファイルを削除していただければ結構です。HSP スクリプトエディタの設定も削除してください。

7. 諸注意・禁止事項

text など、命令や関数と同じ名前の変数は命令や関数としてマークアップされてしまいます。変数には命令や関数と同じ名前をつけないでください。

文法的に正しくないスクリプトの変換は行わないでください。

鳥のアイコンは「もけひよ」(<http://www.sasapoko.net/>) さんの素材をお借りしています。抜き出して利用することなどは決して行わないでください。

8. 謝辞

開発環境として [HotSoupProcessor3.1](#) を使わせていただきました。無料で強力な環境を提供してくださっている おにたま さんをはじめ、HSP コミュニティの皆さんにお礼を申し上げます。ありがとうございました。

また、開発にあたり以下の資料を参考にさせていただきました。

- [HSP 開発 Wiki「COMDictionary」](#)
- [HSP 開発 Wiki「文字コード変換モジュール」](#)
- [ちよくとのページ](#) (タブコントロールについて)
- [Let's HSP!](#) (グループボックス・ラジオボタンのモジュール)
- hs ファイル仕様書 (HSP3.1RC1 に同梱 : docs/HS_BIBLE.txt)
- hs データベースモジュール (HSP3.1RC1 に同梱 : hsphelp/src/hsx_db.hsp)
- [HSPSDK3.1RC1](#)
- 近代科学社「オートマトン・言語理論の基礎」

また、FUJI さんをはじめ、多くの方々からたくさんのバグ報告を頂きました。おかげ様でスムーズに開発することができました。ありがとうございます。

実行ファイルの圧縮およびアイコンの書き換えに [Let's HSP!](#)さんの Let's HSPIC!を利用させていただきました。もはや必須のツールとなっております。ありがとうございます。

アイコンは[もけひよ](#)さんの素材をお借りしています。かわいいアイコンを提供してくださいまして、ありがとうございます。

アイコンへの変換には[@icon 変換](#)を利用させていただきました。とても便利なツールです。ありがとうございます。

9. 開発履歴

1.0b1 (2007/07/21)

- 初公開。

1.0b2 (2007/07/21)

- 不具合の解消。
- エラー報告を詳細化。

1.0b3 (2007/07/25)

- 不具合の解消。
- ディレクトリ構成の変更。
- 変換スクリプトの整理。
- 文字コード変換機能を実装。
- マクロのマークアップに対応。
- HHX のデータベースを利用し、常にデータベースを最新に保つようにした。

1.0 (2007/07/28)

- 不具合の解消。
- 数値のマークアップに対応。
- セーブファイルの形式を変更。

1.1 (2007/08/01) HSP コンテスト 2007 参加バージョン

- データベース読み込みの軽量化。
- 誤字を訂正、用語の統一。
- id 名に拡張子を含まないように変更。
- `#deffunc` および `#defcfunc` 後の `str`などをマークアップしないように変更。
- スクリプト内で定義された命令や関数、マクロもマークアップするように変更。
- 取説を pdf 化。

1.2 (2007/08/17) HSP コンテスト 2007 参加バージョン

- 16 進数表記が正しくマークアップされなかった不具合を修正。
- `#undef`による取り消しに対応。

1.3 (2007/09/07) HSP コンテスト 2007 参加バージョン

- `else` 命令の `hs` ファイルを同梱。
- 文字コードがマークアップされなかった不具合を修正。

1.4 (2007/10/06) HSP コンテスト 2007 参加バージョン

- `include` したファイルの解析機能を追加。
- 変換の経過（進行状況）をウィンドウに表示するように変更。
- `ctype` や `local` などプリプロセッサのオプションもプリプロセッサとしてマークアップするように変更。

1.41 (2007/10/08) HSP コンテスト 2007 参加バージョン

- `include` したファイルの解析機能に関する不具合を修正。

1.42 (2007/10/10) HSP コンテスト 2007 参加バージョン

- `include` したファイルの解析機能に関する不具合を修正。
- コメントで終わるスクリプトが正しく変換されない不具合を修正。

作者 : eller (k_poisson@excite.co.jp)

配布元 : [プロジェクト空色鉛筆](#)